



地域づくりにおける 公民館等の役割

令和4年7月15日に第68回岩手県公民館大会・令和4年度岩手県社会教育委員研究大会が二戸市民文化会館を会場に開催されました。3年ぶりの参集開催であり、私も参加してきましたが、とても素晴らしい大会でした。

岩手県社会教育連絡協議会、大橋会長は主催者あいさつの中で、「コロナ禍で人との付き合い方が変わりました。私たちの人間関係は、よりパーソナルなものになったと考えられます。感染リスクを減らすことを最優先することで、人の考え方も変わり、人との関わり方も変わっていくという問題が起きています。しかし、私たちは一人では生きていくことができません。コロナ禍であっても、人と人とのつながりは、安心であり、心地よいものです。」というお話をされました。

ここ数年、コロナ禍により制約の多い生活が続いています。「〇〇ができない、〇〇に行けない」など、我慢を強いられています。しかし、そこから得たこと、学んだことも数多くあります。

社会教育を基盤とした「**人づくり・つながりづくり・地域づくり**」についても、新たな視点を持って、より一層の取組が求められているのではないかと考えます。そして、地域住民が集い、交流し、つながる場、「地域コミュニティ」の代名詞ともいえるべき公民館等の存在意義はとても大きいと感じています。

当センターでは、今年度より「**地域づくりにおける公民館等の役割と課題に関する研究**」～震災後の地域復興・地域創造に焦点をおいて～と題して2か年の調査研究を行います。公民館等が果たしてきた役割、これからの地域創造について、県内市町村の取組や全国の先進事例など情報収集を行い、調査研究を進めていきます。なお、1年次の調査研究のまとめに

ついては2月の「岩手県生涯学習推進研究発表会」で報告いたします。

さて、話は変わりますが、「**サードプレイス**」という言葉聞いたことがありますか？「サードプレイス」とは、家庭【第1の場所】、職場や学校【第2の場所】に続く、居心地の良い場所【第3の場所】と定義されています。

居心地の良い場所【第3の場所】とは、例えば、カフェや居酒屋、図書館や美術館、スポーツジムやライブ会場など趣味を持つグループが集う場や目的を持つ活動の場ということもあります。



「サードプレイス」で重要なことは、『**誰でも受け入れてくれる開放的な場**』という点です。

古民家を活用したカフェや空き家の再活用による遊び場など居場所づくりが様々な地域で試みられています。これも「サードプレイス」的な視点があると思います。また、公民館等の社会教育施設は従来から住民の集いの場、交流の場としての役割を果たしてきました。

今、公民館等の役割を考えるうえで、「サードプレイス」の意義や役割を踏まえて検討してみることも大切な視点ではないかと考えます。そして、それは大人だけではなく、子どもたちにとっても「サードプレイス」的な公民館等の社会教育施設があることで、地域の中で明るく元気にのびのびと成長していくことができるのではないのでしょうか。

岩手県立生涯学習推進センター事業報告

6/3(金)実施 家庭教育・子育て支援担当者研修会



山野則子 教授

家庭教育・子育て支援に携わる様々な業種の48名が受講し、教育分野と福祉分野が情報を共有し、連携・協働することで、単独で取り組むよりも支援が充実することについて知り、より深く考える機会となりました。

午前は、県教委生涯学習文化財課高橋主任社教の行政説明と大阪公立大学の山野則子教授から「教育と福祉の連携による家庭教育支援の取組」と題して基調講義を行いました。午後は、山野先生をコーディネーターに、八戸市城北家庭教育支援チームの七條いつ子さん、宮古市ふれあいステーション・あいの澤田優美さんの事例発表をもとにしながらパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

6/6(月)実施 読書ボランティア研修会



宮西達也 さん

地域や学校図書館のボランティア、図書館職員、学校教職員等90名が受講し、研修を通して、子どもの読書活動推進のために必要な知識・技能の向上を図りました。

午前は、県教委学校教育室の桂主任指導主事の復興絵本の紹介と、人気絵本作家宮西達也さんによる「ニャーゴの優しさ・ティラノの思いやり」と題しての講演会を行いました。午後は、JPIC読書アドバイザーの平田純子さん、おはなしころりん理事長の江刺由紀子さん、岩手県立図書館の永塚優美子さん、KOTOSE～言葉のせせらぎ～主宰の佐藤くみこさんを講師に招き、4つの選択研修を行いました。



センター職員等との音読劇

6/9(木)実施 ICTスキルアップ研修講座②



高橋啓 社会教育主事

社会教育や地域づくりを担当する職員等33名が受講し、図形オブジェクトの取り扱い方についての基本的な操作実習と、ちらしや広報誌を作成する際のポイントについて学びました。

当センター高橋啓社教が講師を務め、午前は図形オブジェクトの操作方法をWordを使ってお絵描き感覚で実習しました。午後は、Wordよりも印刷物のレイアウト作成に特化したソフトウェア「Publisher」の使い方について作例のファイルに操作を加えながら学びました。



受講の様子

6/17(金)実施 コミュニケーションスキルアップ研修講座



田原晴美 さん

社会教育や地域づくりを担当する職員や幼稚園・保育所・こども園等の教職員を中心に33名が受講し、基本的なビジネスマナーを身につけるとともに、より良い人間関係づくりのためのコミュニケーションスキルを学びました。

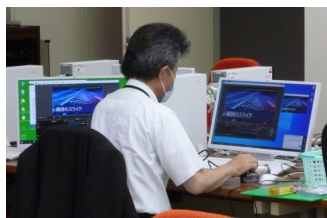
講師に、コミュニケーションアドバイザーで産業カウンセラーである田原美晴さんを迎え、午前中は、「ビジネスマナーの基礎・基本」と題して講義・実技を行いました。午後は、名刺交換の演習と「明るくつながる人の『わ』づくり」と題し、ペアワークをしながらコミュニケーションスキル向上の演習をしました。



演習の様子

6/20(月)、22(水)、27(月)実施 ICTスキルアップ研修講座①

社会教育や地域づくりを担当する職員や教員を中心に3日間で23名が受講し、オンライン配信において、どのような場合にどのような機材が必要になるかを学びました。講師は、当センター高橋啓社会教育主事が務めました。午前はインターネット配信の手法についての講義の後、ソフトウェア「OBS Studio」の使い方学びました。午後は、午前に引き続き「OBS Studio」の演習後、当センタースタジオで、実際に受講者の皆さんでカメラなどの機材を配信用に設営してみました。



受講の様子



配信機材設営の風景

7/13(水)実施 家庭教育・子育て支援活動交流研修会



平間恵美 さん

市町村の子育て支援担当者や保育士を中心に25名が受講し、子育て・家庭教育の切れ目のない持続可能な循環する具体的支援について考えました。講師に、

青森県のNPO法人はちのへ未来ネット代表理事の平間恵美さんを迎え、午前は「福祉と教育の垣根を越えて つなぐ未来」と題して、講義を行いました。午後は「生まれる前から切れ目のない支援をするために～持続可能な循環する支援～」をテーマにグループに分かれてワークショップを行いました。



グループワークの様子

6/23(木)実施 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会①



矢生秀仁 さん

放課後児童クラブ及び放課後子供教室に携わる関係者を中心に35名が受講し、子どもが自ら育つ環境づくりのための大人の役割と子どもの遊びと育ちの環境のあり方について学びました。午前は、

県教委生涯学習文化財課松川主任社教からの行政説明と、茨城県の子ども環境デザイン研究所代表の矢生秀仁さんから「子どもが主役！子どもが豊かに育つ環境づくり～子ども達を取り巻くヒト、モノ、コト～」と題して講義・実習を行いました。午後は、午前中の講義・演習の続きとして身近なものを使っての工作遊びし、その後、作品鑑賞会と受講者との質疑応答を行いました。



工作遊びの様子

8/9(火)実施 学校と地域の連携・協働研修会



志々田まなみ 氏

学校関係者や地域学校協働活動推進員、県や市町村の行政担当者を中心に92名が受講し、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとの一体的推進の意義と学校と地域の連携・協働の一層の推進について理解を深めました。午前は、

大船渡市立立根小学校志田知美校長、遠野市教育委員会佐々木一樹主任、宮古市立第一中学校地域学校協働本部金野侑地域学校協働活動推進員の事例発表を行いました。午後のはじめは、国立教育政策研究所志々田まなみ総括研究官をコーディネーターに事例発表者とパネルディスカッションを行いました。その後、志々田氏から「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進」と題して講演をしていただきました。



パネルディスカッションの様子

Webサイト「まなびネットいわて」には、実施要項やWEB版報告書が掲載されています。

< <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/youkou/youkou.html> >

市町村事業の紹介

宮古市生涯学習課

宮古市教育委員会事務局生涯学習課から、特色ある事業について寄稿いただきました。

宮古市社会経験者大学

令和4年度で第52期を迎える宮古市社会経験者大学では、市内に住む概ね60歳以上の方を対象とし、月1回程度の講座やものづくり教室、クラブ活動などを行っています。対象となる方であればどなたでも入学でき、講座やクラブ活動への参加は自由です。毎年5月から12月までの学習期間で、秋には「社会経験者大学祭」も開催されます。5月12日



3B体操で音楽に合わせて体を動かす参加者

宮古市まちづくりふれあい講座

5人以上の市民グループの希望に応じて、市の職員等が講師として出向き、市政に関する情報の説明や専門知識を生かした講座を行います。講座のメニューは、コロナ禍で休止しているものもありますが、「宮古市の国土調査」「介護保険のしくみ」「家庭ごみ・資源物の分別とその行方」「防災講座」など、現在74の講座が登録されています。令和3年度には、21講座662人の参加がありました。



団体の希望する会場で防災講座を開催

宮古市野外活動センター

5月5日(木)こどもの日、田代地区にある野外活動センターを会場に「森のあそび場」を開催しました。参加料無料、申込不要で、いつ来ても、いつ帰ってもOKのイベントです。ツリークライミング体験、ネイチャーゲーム、手作りアスレチックなどが行われました。(ツリークライミング体験のみ先着20名) 野外活動センターは、田代川沿いにあり、自然に親しむことのできる施設です。冬期間も利用できるキャンプ場があります。



ツリークライミング体験

高田式体育教室ダイヤモンドキッズカレッジ

6月26日(日)、宮古市民総合体育館で、高田式体育教室ダイヤモンドキッズカレッジが開催されました。元プロレスラー・元総合格闘家でタレントの高田延彦さんが代表を務める高田道場主催のこのイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり3年ぶりの開催となりました。40組80名の親子ペアが参加し、高田道場オリジナルの体操教室を楽しみました。



高田さんとグータッチ

「岩手県立生涯学習推進センター情報」第113号 / 編集・発行 岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301花巻市北湯口2-82-13 電話0198-27-4555 FAX 0198-27-4564